

## びほろの活力共創事業企画書

2026 年 4 月 17 日

美幌町長 様

団体名 まちなかライブラリー開設準備委員会  
代表者 横山 直樹

## 【団体の概要】

団体名	まちなかライブラリー開設準備委員会		
団体所在地	美幌町字西 2 条北 1 丁目 1 番地		
代表者名	(団体肩書き)	代表	(氏名) 横山 直樹
設立年月日	2025 年 月 日	会員数	15 人
目的・活動内容	「みんなの課題はみんなで解決」→シャッターで閉店したままの「まちなか」に明るさを取り戻したい！その第一歩として空き店舗を活用した「まちなかライブラリー」を開設することで、本の閲覧・貸出をきっかけに、子どもから高齢者まで誰もが自然に集い、交流できる持続可能な地域コミュニティの拠点を創出することを目的とします。活動としては「まちなかライブラリー」を開設までの店舗改修、開設後は各団体・ボランティアとの共同運営		

## 【事業の概要】

事業区分	地域活性化 / 設備投資	該当事業 No.	2、4、8
事業名	空き店舗を活用した多世代交流サードプレイス「まちなかライブラリー」創出事業		
事業目的	<p>現在、当町の商店街では空き店舗の増加とそれに伴う賑わいの喪失が課題となっています。一方で、高齢者の社会的孤立の防止や、子ども・高校生が放課後等に安心して過ごせる「サードプレイス(第3の居場所)」の整備が求められています。慶応大学と京都大学の統計調査によれば、図書館などの文化活動拠点への外出は、高齢者の要介護リスクを大きく低下させる(蔵書数が10冊増えるごとにリスクが約34%減少、図書館が1館増えると要介護者の割合が約48%少ない傾向)ことがわかっています。本事業は、「(有)いそぎ商店」様の西側の利用されていない店舗を磯崎様のご厚意により活用させて頂き、美幌町図書館で開催される古本市(毎年9月末)に寄贈され売れ残りとなり図書館で保管されている古本を活用した「まちなかライブラリー」を開設することで、本の閲覧・貸出をきっかけに、子どもから高齢者までが自然に集い、交流できる持続可能な地域コミュニティの拠点を創出することを目的とします。</p>		
事業内容 場所 周知方法 (具体的に)	<p><b>事業内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗のリノベーションおよび本棚製作の完了と、オープンに向けた拠点整備</li> </ul> <p>地域コミュニティの拠点とするため、「(有)いそぎ商店」様西側店舗の天井および壁の修繕・塗装、照明器具の LED 化、ならびに図書を配架するための本棚の製作</p>		

	<p>(総額約 102 万円相当) は、既に自己資金にて実行・完了しています。本事業では、来館者が快適に滞在できる無料 Wi-Fi 環境の構築に加え、店舗の顔となるシャッターにインパクトのある看板並びに開催日を知らしめるノボリを配置することで、地域の目を惹く魅力的な外観整備を行い、オープンに向けた最終的な拠点整備を完了させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちなかライブラリー」の開設・運営 美幌町図書館で行われる古本市に寄贈された古本の中で、売れ残ってしまい図書館倉庫に次回の古本市まで保管されている古本を有効活用します。運営にあたっては、長年にわたり古本市等の益金で図書館への寄贈活動を行っている「美幌町図書館と歩む会」及び商店街、自治会、ボランティアの協力を得て、本を通じた交流を促進します。</li> <li>・高校生との協働・探究活動の場としての提供 美幌高校生が実施している探究活動「美・place Project (高校生のサードプレイスを作る活動)」と連携します。高校生自身に「まちなかライブラリー」のイベント企画や運営に参画してもらい、若い世代の視点を取り入れます。</li> <li>・若者目線の SNS 発信 (高校生・若年層向け) 「美・place Project」の高校生を中心に、Instagram などの公式 SNS を立ち上げて発信を行います。同世代の関心を惹きつけ、足を運ぶ動機付けとします。</li> <li>・地域メディアへのアプローチ (高齢者・一般層向け) 地元メディアへプレスリリースを発信します。その際、「図書館が多い自治体ほど要介護者が少ない」という学術的な調査結果を提示し、社会的意義の高いニュースとしての記事化を狙います。道内各所での私設図書館の広がりや新聞等でも報じられており、関心を持たれやすいテーマです。</li> <li>・アナログ媒体での着実な周知 (シニア層・既存コミュニティ向け) 「美幌町図書館と歩む会」及び商店街、自治会、ボランティア等のネットワークを活かし、ポスター張りやチラシの配布などを通じて地域に根ざした周知活動を行います。</li> </ul>
<p>期待される事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの再生と多世代交流 目的がなくても「本を借りに来ることを言い訳に多様な人が集まる場所」として機能し、世代を超えた「顔の見える関係」が構築されます。</li> <li>・高齢者の健康寿命延伸 (要介護リスクの低減) 日常的な外出の目的となることで身体活動が促され、本を通じた回想法や認知機能の維持に貢献します。</li> <li>・農産物の販売など美幌高校との協賛事業 美幌高校の新鮮な野菜、生花などの販売を通して高校生と町民の交流をはかり、美幌高校を PR することに寄与します。</li> <li>・高校生の郷土愛醸成と商店街の賑わい創出 高校生が主体的にまちづくりに関わることで、将来の定住や U ターンに繋がる郷土愛を育みます。また、空き店舗が再生されることで、商店街エリア全体の回遊性と活力が向上します。</li> </ul>
<p>総事業費</p>	<p>1, 866 千円 (うち補助対象経費 846 千円)</p>
<p>事業実施期間</p>	<p>2026 年 5 月 1 日 ~ 2027 年 4 月 31 日</p>

<p>次年度以降の活動予定</p>	<p>初年度の拠点開設・認知獲得を踏まえ、次年度以降は持続可能な運営体制の構築と事業の発展に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流イベントの定期開催と拡充 高校生が主体となり、本を通じた交流イベントやワークショップを定期化します。地域商店街と協賛することによって、まちなかに活気をつくりだします。</li> <li>・「好き」を発信できる拠点づくりと自立的運営 燕市の民間図書館ぶくぶく「一箱本棚オーナー制度」のように、利用者それぞれが自分の「好き」を言える・発信できる場へと育てていきます。将来的には、空きスペースを活用した小規模なシェアスペースやイベントの貸出などを行い、補助金に依存しない自立的な運営資金（維持管理費等）を確保する仕組みを構築します。</li> <li>・地域の見守り・福祉ネットワークとの連携 毎日の日課として訪れる高齢者のサードプレイスとして定着した後は、目的もなく立ち寄る高齢者に対して、家族からあらかじめ写真を預かって様子を見守るなど、地域のインフォーマルな福祉・見守り連携拠点としての役割も担っていきます。</li> </ul>	
<p>当補助金の 交付経歴</p>	<p>年度</p>	<p>円</p>
	<p>年度</p>	<p>円</p>

※添付資料

事業予算書、役員名簿及び事務局、書類公開同意書、規約（策定している場合）、団体に係る直近1年間の事業及び収支報告書（作成している場合）、その他資料

## 事業予算書

（事業名：空き店舗を活用した多世代交流サードプレイス  
「まちなかライブラリー」創出事業）

（収入の部）

（単位：千円）

科 目	金 額	備 考（具体的内訳）
町 補助金	500	活力共創事業費補助金として申請
自己資金 計	1,366	完了済みの店舗改修および照明器具取替として充当
会費収入		
寄附金		
団体負担金		
その他		
合 計	1,866	

（支出の部）

（単位：千円）

科 目	金 額	具体的内容 （できるだけ詳しく記載してください。）	内 訳	
			補助対象経費	補助対象外経費
人 件 費 （報酬・賃金を含む）				
報 償 費 （謝礼を含む）				
旅 費				
消 耗 品 費	57	塗料資材代 ※完了済（57千円）		57
燃料費・光熱水費				
食 糧 費				
印 刷 製 本 費				
通 信 運 搬 費	96	無料 Wi-Fi 接続料（8,000円×12ヶ月）	96	
広 告 料	50	オープンに向けた広告宣伝費	50	
手 数 料				
保 険 料				
委 託 料	379	【補助対象】シャッターへのマジック看板及びノボリ作成施工費（300千円） 【対象外】移動本棚台車製作 ※完了済（79千円）	300	79

使用料・賃借料	300	いそぎき商店 家賃・電気代 (25,000円×12ヶ月)	300	
備品購入費	100	無料 Wi-Fi 端末購入 (機器・ 工事費)	100	
修繕費	736	【対象外】店舗改修作業 (不 用品廃棄、修繕・塗装作業 ※完了済 (736千円)		736
工事費	148	【対象外】照明器具 LED 化 ※完了済 (148千円)		148
合計	1,866		846	1,020